

## 自己評価票

(個別表)

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域ぐるみで高齢者の生活を支え、その人らしく暮らせ、地域生活との継続を支える理念を作っている	○	理念や運営上の方針に基づいたサービスが提供できるようミーティング・カンファレンスを行い、今後とも理念にそった行動ができる働きかけ・実践をしていきたいと考えている
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	所内での新任職員研修で必ず理念を伝え理解してもらうようにしている ミーティング時は理念を再確認合っている		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域に理解していただくよう自治会や区長会に説明に行き理解を深めてもらっている 自治会のゴミ当番等も一緒にさせてもらったり地域の行事にも参加して関わりを深めている また、当法人の広報誌で紹介している		
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎朝の散歩や買い物にでかける時等、近所の人たちと挨拶したり声かけにより、利用者の行動を見守って下さっている 家で作られた野菜や花等を持って来て下さる等のつきあいが深まりつつある	○	ホームの隣家のあったかほむが地域交流の場となっており、子供や高齢者の交流を深める回覧も回しており、日常的なつきあいができるよう努めている
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会費を支払い、ゴミ当番や例祭・納涼祭・老人会主催のグランドゴルフ大会・文化祭への出展、行事に参加している 近くの保育所との交流や運動会にも参加している	○	子ども110番を受け、通学の見守りやいつでも立ち寄れる体制を作っている 納涼祭ではおにぎり作りをさせてもらったり、自治会や区の行事に参加して地元の人々との交流に努めている
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	いきがいデイサービス・つどいの広場で地域の高齢者・子供達と交流している 家族や地域住民を対象に認知症を理解してもらいための研修を行っている		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義や目的をミーティングで話し合い評価を実施し、評価でた課題について改善計画や具体策についての検討や実践につなげている		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の現状や利用者の状況の説明、自己評価・外部評価の結果と改善への取り組みを報告し、意見をもらうようにしている	○	事業所の活動内容や課題を報告し、解決に向けての意見や助言をいただき、少しずつ積み上げて、改善経過のモニター役になってもらえるようにしたい
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者から必要な情報をもらったり、小規模事業所としての運営や介護サービスの向上について助言をもらったり、協議をしてもらえるよう働きかけをしている		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在利用している入所者がいて、職員は管理者からの説明を受けたり、ミーティングで制度について理解を深め利用者を支援している(地域福祉権利擁護事業)		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングやカンファレンスを通して、高齢者虐待防止に関してNPOとしての職員研修を実施し理解を得るようにしている		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に事業所のケアに関する考え方や取り組み、退所を含めた対応可能な範囲、重度化や看取りについての対応、医療連携について説明している		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員に月1回程度入ってもらい、利用者の相談の内容を事業所に知らせてもらったり、ミーティング等で話し合い、利用者本位のケアを心がけている	○	利用者の日常生活から不満苦情等を察知し、改善できるよう努力している
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に通信を発行し、利用者の状況・預かっているお金の金銭出納帳を毎月にご家族に報告している 健康状態に限らず、きめ細かく電話で伝えている		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族から意見が出やすいよう苦情窓口やご意見箱の紹介をしたり、市の窓口・県の窓口・第三者委員を知らせている。来所時に話された内容はミーティングで話し合いに反映させている		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のミーティング、3か月に1回の面接を行い考え方や意見を聞き反映させている。日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ意見や提案を聞き出している		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の暮らしを支えられるよう起床時の更衣・排泄の介助に手がかけられるよう職員を配置している。利用者の状態・ペースに合わせたローテーションにしている		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日常的になじみの関係によるケアの大切さを話し合い基本的には職員の交代はしない方針で、病気等でやむなく離職する場合は利用者に説明し、新しい職員が入る場合も説明し、利用者から物の場所等教えてもらうようにしている		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個人毎に研修計画を立て、研修に参加してもらっている。研修の参加後、復命書を作成し、他スタッフに回覧で読んでもらったり、ミーティング時伝達してもらい、日常活動に活かしている		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会・湖南省介護保険事業所協議会の研修に参加してもらい、他ホームと交流し、サービスの質の向上を目指している。また甲賀圏域グループホーム交流会にも参加してもらい他ホームの良いところを取り入れている		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個人面接や個別に悩みを聞かせてもらい、できる限りの対応をしている。6か月毎に親睦会を行い、職員間の交換をしている。淡海グループホーム協議会・湖南省介護保険事業協議会の研修に参加してもらい他ホームとの交流も促している	○	ストレス緩和を図るため、隣家の「あったかほーむ」を解放し自由に使ってもらい、職員間の親睦・意見交換の場となるようにしている
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の段階別に上位の資格取得に向けての情報の提供や勤務の調整を行う等で資格取得の支援を行っている		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からサービスの利用について相談があった時は、必ずご本人に会い心身の状態や本人の気持ちを聞かせてもらい、思いを受け止め、職員とご本人の関係作りに努めている	○	家族の思いと(安全・安心な環境で生活してほしい)本人の思い(今の生活をしたい)が違うことが多いので、本人の困っていることを聞かせてもらったり、疑問に思っていることに答えさせてもらって、安心感を持ってもらっている
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が困っていること・家族が求めていることを聞かせてもらい、事業所として対応できることを事前に話し合っている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い・状況を確認し、その時点で必要なサービス利用について説明し、必要なサービスにつなげたり提案している		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族にホームを見学してもらい、本人が利用しようという気持ちになられるよう2~3回日を置いて来てもらい、ホームにも慣れてもらい、納得して利用できるよう支援している		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴を活用し、家事とか野菜作りについて職員が利用者に教えてもらい、お互いに協力しながら生活をして家族に近い関係作りをしている		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の状況や思いを家族に伝え、本人を支えていくための連絡を取り合う中で、家族も職員の思いに気付かれてよい関係が作られている		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者に家族が大切に思っていることを伝え、家族には利用者が感謝していることを伝え、お互いの思いが伝わるよう働きかけよい関係が保たれるようにしている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	今まで使っていた家具や物を持ってきて いただいたり、ご自宅近くをドライブをして いる また、市の広報等で馴染みの場所・ 人の情報を得たりしている	○	利用者の中で高齢になられた方々にとっ ては、馴染みの人は少なく、家族との関係を 大切にしたり、ホーム近くのボランティアさ んとの関係ができるよう配慮している
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	ミーティング時、利用者同士の関係につ いて職員が情報を共有して、散歩や共同 作業をするときの組み合わせ等に配慮 し、うまくいくよう調整している		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設や自宅へ帰られた方等についても 移られた所へ職員が訪問したり、他施設 に移られた利用者も遊びに来られたり、 家族も相談に来られている		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で利用者の思いや意向を把握するように努めている 家族に会いたいと言われたり思われていることが汲み取れる場合、家族に連絡し本人の思いを伝え、どう本人を支えていくかを家族と検討している		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ホーム入所までに本人の生活歴・支えられた人々のこと・大切にされていた物等をシートでわかることを記入してもらっている 把握できてないところは本人自身に語ってもらい埋めている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの生活の仕方(生活リズム)や行動・話される内容等から、1日の過ごし方・心理状態等利用者の状況を総合的に把握している また、センター方式の活用もしている		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の心理状況・生活史・「できること・できないこと」シートの活用でアセスメント・課題を明確にし、本人の生活歴・家族の希望にそうように職員はミーティング・カンファレンスで話し合い、利用者主体の介護計画を作成している		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の定期的な見直し・効果・評価を行うとともに状況変化に応じて見直し、現状に即した対応可能な計画を作成している		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに日常生活の状況や利用者の言葉・排泄の状況・食事・水分量・服薬の有無・心身状況を記録し、利用者の変化がわかるよう具体的に記入し情報の共有をしている		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者一人ひとりがほしい物を買に行けるよう時間を作り出す工夫をし、利用者に満足してもらうよう働きかけている 24時間体制で健康管理をし、必要な対応ができるよう努めている		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣住民の方がボランティアで花の手入れ・野菜作りに来て一緒に作業をして下さっている 交番のお巡りさんに働きかけて、安否確認に時折寄ってもらっている	○	買い物先・理美容院・公民館等に協力していただいている 地域内での社会資源の活用ができるよう働きかけている
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の図書館で開催するイベントに参加したり、隣家のあったかほーむで健口体操をされる時(市の開催)資料を活用し参加している		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの職員に運営推進会議の参加をしていただいております、支援に関する情報交換・協力関係を築いている		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者個人ごとに入所前からかかりつけ医があり、家族に同行受診をしてもらっているが、緊急時は家族の同意を得て職員が代行している 受信結果は家族と共有できている		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医に受診され診断や治療方針を定められる方がほとんどですが、専門医への通院が困難な方は専門医から地域の医師へ紹介されフォローされている		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームに看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている 看護師と協力医療機関とも連携が密にとれる体制がある		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院によるダメージを防ぐため入院時に主治医と話し合い、ホームの対応可能な条件等を伝え、早期退院へのアプローチをしている 医師・ソーシャルワーカーと連絡を取り合い家族の協力を得て、退院の判断をもらっている		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する看取りの指針を定め、事業所としてできるケアについて説明を行っている 本人の状態の変化があるごとに本人・家族の思いを聞かせてもらい支援につなげている	○	本人・家族の意向にそいながら急変時の対応をさせてもらうことを話し合っている 重度化に近い状況にならないと真剣に考えられない本人・家族にも状況変化に対応して繰り返し話し合っている(家族・主治医との連携をしながら)

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	当ホームでできる見守りを主としたケアを希望される場合、本人・家族の意向を踏まえ、主治医・職員が連携をとり、安心して最期を迎えられるよう取り組める体制の準備をしている	○	本人・家族が見守りを主とした介護や終末期のケアを希望される場合、医療機関と連携をし、家族の協力を得ながら実施していきたい
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設へ移られる時は本人家族の了解を得て、日常生活で注意を必要とすること・健康状態・支援の内容等を情報提供している		
地域資源との協働 10項目中 10項目					



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	ミーティングやカンファレンス時、人間としての尊厳を守るため利用者の誇りやプライバシーを損なわない対応をするよう徹底を図っている 個別ファイル等記録にも個人名をあげず、T氏・Y氏等で表している	○	人生の先輩である利用者を敬う言葉遣い・プライバシーに配慮した排泄・入浴の介助に留意している
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせて声かけをしている 言葉で意思表示ができない場合、表情やしぐさで利用者の希望や好みを把握し、利用者が決めていけるよう支援している		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個人のペースで生活していただいている 買い物や散歩等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら対応している	○	利用者のその日の体調に合わせて、また利用者の希望にそって生活している 一日の流れの大枠はあるが、一人ひとりの思いを尊重し、利用者の気持ちにそって生活してもらっている
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の生活習慣に合わせた服装・髪型や身だしなみをしていただけるよう支援している		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感が感じられるよう季節の行事に合わせた献立・旬の食材を取り入れ、調理・盛り付けを利用者とともにしている また、食べたい物のリクエストしてもらい献立を変え、買い物と一緒に行き食材を選んでもらい満足感を持ってもらっている		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒー・甘い物等、一人ひとりの好みに合わせ嗜好品を楽しめる支援をしている		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちいい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、さりげなく声かけをしてトイレ誘導で排泄を促している 排泄の失敗をされても、他利用者に気付かれないようトイレ・居室に誘導し交換している		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調が良ければ、毎日入浴してもらい、不満が出ないよう利用者が曜日で順番を決めている 一人ひとりに合わせた入浴の支援を行っている 衣服はできる限り自分で脱いでもらうようにしている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動(家事・散歩・買い物・レクリエーション等)を活発にもらい、生活リズムを整えるよう努めている		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各所仕事・掃除・洗濯等、利用者役割を持ってもらえるよう「手伝って下さい」「助けて下さい」と一人ひとりのやる気を引き出せるよう働きかけをしている。「助かったわ」と感謝の気持ちを伝え、自信につながるよう努力している	○	男性には天井など高いところの掃除をもらい、スタッフとともにきれいになった喜んでくれている。お出かけの相談をして、おにぎりを持って出かけることもある
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行く時、利用者本人の物を買われる場合は財布にお金(少額)を持って行ってもらう支払いを自分でしてもらっている		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出はほぼ毎日行っている。散歩・食料品や日常生活品の買い物・気分転換やストレス発散のため、ドライブや名勝の見学等、重度の人は車イスを利用して行っている		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一泊温泉旅行に行きたいという利用者の声に応えるため、6か月がかりで計画し、家族やボランティアの協力を得て出かけた		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者が望まれば、いつでも電話を管理室または居室で利用してもらっている。家族や友人からの手紙が来たら、返事を書いてもらっている		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に出入りできる雰囲気作り心がけている。居室で利用者と来所者がくつろげるようお茶・お菓子を出し、ゆっくりしてもらっている		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	NPO法人企画の「身体拘束ゼロ」の研修やミーティング・カンファレンスで弊害をしっかりと認識し、職員全員で拘束しないケアに徹している	○	人権の尊重を重視し、身体拘束は今後も行わない(言葉や態度にも留意している)

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関にも鍵をかけず、利用者が自由に入出りできるようにしている(センサーが働き、音で出入りがわかるようにしている)		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ室内で記録等の事務作業を行い、全員の状況を把握するよう努めている 夜間は巡視を行い、利用者の様子を確認し、すぐに対応できるようにしている		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に合わせ、嚴重に保管すべきもの、保管管理が必要なもの、利用者が使う時に注意が必要なものを考慮して保管している		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとり利用者の状態を把握し、予測される危険を検討し、事故を防ぐための工夫に取り組んでいる ヒヤリハットは記録をし、事故が発生した場合、事故報告書を作成し、事故原因と今後の予防対策を検討し、家族への説明と報告を行っている	○	誤嚥のリスクの高い利用者の飲食支援 転倒リスクの高い人の歩行支援 スタッフが付き添い、見守りを行っている
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作り、職員の目の届きやすい場所に置いている 所内の応急手当の研修や行政機関が行う救急手当や蘇生術の研修に参加し、全職員が対応できるよう努めている		
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災・砂防等、非常災害訓練計画を作成し、マニュアルを活用して避難訓練を実施している 地域の協力体制については運営推進会議で協力を呼びかけ協力を得ている	○	消火器、非常用食料、備品を準備している 砂防訓練の時には地域住民が利用者を車イスで移動して下さる等協力して下さった
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに予測されるリスクについては家族に対して説明をし、段階的にその都度話し合っている 利用者にてできる限り自由に暮らしていける支援を行っている		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの利用者の状況を職員が把握しており、少しでも変化があれば記録を付け、状況により家族に連絡し医療受診につなげている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの薬の管理シートを活用し、個別に分けて薬を管理し、服薬時本人に手渡し服用できていることを確認している		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩・買い物・ドライブ等に誘い、ホームの中でも体操・ボール遊び等の運動を促す働きかけをしている 繊維質の多く含まれている食材を取り入れたり、ヨーグルトを食べてもらおう等の工夫をしている 水分補給量を記録し、不足がないよう努めている		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きを就寝前に行うよう促している 義歯は就寝前に外してもらい、洗浄し専用容器に保管している 食事の仕方や仕草から口腔内を見せてもらい、炎症の有無・義歯のかみ合わせの異常に気を付けるよう努めている		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事や水分の摂取量を毎日チェックし記録して、職員は情報を共有し対応している 定期的に保健師による点検を行っている		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルを作成しており、職員全員で勉強し予防対策に努めている 利用者家族の同意を得て、職員共にインフルエンザの予防接種を受けている	○	常時、感染予防対策として、外出から帰ったら、手洗いとうがいを実行している ノロウイルス対策としてペーパータオルを使用している
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮で安全な食材を使用するため、魚・刺身は当日買いに行っている また、2日ごとに食材を仕入れている まな板やふきんは毎晩漂白し、清潔を心がけている		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出入りしやすい雰囲気のある玄関になるよう玄関先にプランターを置いて、季節の花を植えて安らげる工夫をしている 庭先に花や野菜を植え、洗濯物干しを置く等の工夫をしている		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	暮らしの中で匂いや音を感じてもらえるようスタッフと共に3食作ってもらっている 季節感を意識的に取り入れる工夫をしている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホームの廊下にソファや小さなテーブルを置き、仲のよい者同士で、またひとりでくつろげるよう工夫している		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者のお気に入りの写真や手作りの作品を居室に飾る工夫をしている		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節に配慮しながら、朝の換気は毎日行っている。冷暖房もこまめに調整し、利用者個人の好ましいと思う温度・湿度に設定して気持ちよく過ごしていただけるようにしている		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所の流しや洗面所は利用者に合わせて使いやすくなっている。玄関・廊下・トイレ・風呂場等に手すりを設置し利用者の心身機能低下防止をし、能力に応じて安心・安全に過ごせるよう考慮した工夫を行っている		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者が混乱しにくい環境作りに努めている。居室の冷暖房機のランプが気になる人がいるので、見えないよう工夫をしている		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花を植えたり、畑のスペースを確保し、草花や野菜の手入れ・水やりをしてもらう等日常的に楽しめる環境を作っている		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない  一人ひとりの思いや願いを把握できている (全てかなえてあげられない現状があるが…)
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない  基本的にはゆっくりゆったり過ごすを基本としている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  利用者同士自分のペースを守っているが、利用者同士で介入がある(職員が中に入り調整している)
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  言葉が出なくても関わり方で支援が伝わり、いきいきしている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  行きたいところの外出支援はしている(県外の場合は家族の協力がなければできない)
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  全ての方に主治医がおられ、健康に不安がある場合受診していただける(家族と一緒にいられている) 常勤の看護職がいるので健康管理を行っている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  小規模のホームなので臨機応変に動いている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない  ホームの職員としてはほぼ全ての家族と信頼関係ができていると思っているが、家族は気兼ねして言えないこともあるかもしれないと思う
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない  ボランティアの方々が来て下さる 元の住所近くの友達はたまに訪ねて下さるし、家族は月に1~2回来所して下さい

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)	
		↓○印欄	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない	グループホームの近隣の方々との触れ合いや交流が少しずつ増え、近所を散歩等される時見守って下さっている。利用者が地元の行事に参加されると席を準備して下さったり、道を空けて出入りをさせて下さったり等、協力が得られている
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	グループホーム大空の理念にそうよう利用者とのふれあいを大切にいきいきと働いている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	利用者同士の触れ合いや交流が増えたり、束縛のない安らぎのある自由な暮らしに近い生活をおおむね満足し、楽しんでいただいていると思っている
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない	距離を少しおくことで家族にゆとりができ、利用者に優しく接することができる。家族は小規模で見守りのある暮らしを支えていることとおおむね満足されていると思われる

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

## 評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目



## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 5項目/5項目)について

理念を実現していくため、職員間で話し合い具体的に利用者を支えるサービス提供体制作りや地域との関わりを深め、地域の一員としてその人らしく暮らし続けることを支え続ける努力をしており、理念に基づく利用者本位の支援に近づきつつある

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 2項目/2項目)について

本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、本人が納得できるまで家族と共にホームへ見学に来てもらい、ホームの環境や雰囲気や職員や他利用者に馴染めるよう工夫している

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 4項目/4項目)について

利用者一人ひとりの思いや暮らし方の意向や希望、生活の状況の把握に努めている 利用者本位、その人らしい暮らし、本人の思いの尊重に努めている

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 7項目/7項目)について

事業所の中だけで過ごさず、普通の生活の延長と考え、散歩や買い物・ドライブ等、毎日の外出や利用者の希望を入れて、一泊温泉旅行を行う等の外出支援をしている

### V サービスの成果に関する項目について

開設4年が経過し、利用者もスタッフも地域の人々と交流ができ、地域の一員として認められつつあり、安定した生活が送れている

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日：平成19年 11月 20日

前回評価年月日：平成18年 11月 20日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
自己50 外部20 IV-1. (1)	1	高齢者の人権の尊重 ・利用者一人ひとりの人格を尊重し、その人らしい生活の継続を支援する ・入居者の自己決定や希望の表出への支援 ・プライバシーに配慮した日常生活の支援	平成19年12月～平成20年11月	外部研修 県・圏域での研修 内部研修 入居者一人ひとりの生活歴を知り、その人らしい暮らしや尊厳を支援する	・高齢者の自己決定の支援 ・プライバシーに配慮し、高齢者の自信の回復への支援	平成20年11月
自己52 外部21 IV-1. (1)	2	認知症の方のその人らしい暮らしの支援 ・利用者の心身状態を把握し、一人ひとりに合った関わりを行い、対応する		認知症研修 外部研修 内部研修 入居者一人ひとりの思いや暮らし方の意向や希望にそよう支援する	入居者一人ひとりに合った個別の関わりができる	
自己59 外部24 IV-1. (3)	3	役割・楽しみごと・気晴らしの支援 ・張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人ひとりの生活歴や力を活かした役割・楽しみごと・気晴らしの支援を行う		利用者が望む役割や楽しみを引き出す工夫	利用者一人ひとりに合った楽しみや役割を見つけ支援ができる	